



あめ 天の岩屋戸

おとうと すまのおのみことかみ
弟の須佐之男命が神さまにお供え
するものにまで乱暴するのを見て、
かな
悲しまれた天照大御神は、天の岩屋
におかくれになり、岩戸をしめてしま
われしました。すると、世の中はまっ暗
になり、災いのはびこり大混乱にな
りました。

やおよびす
八百万の神さまたちは困りはて、
いわと まえ あつ
岩戸の前に集まり相談しました。そ
して、おもいかねのかみ ちえ
思金神の知恵で、たくさんのに
わとりを鳴かせ、榊に鏡や玉飾りを
つけて岩戸のまえに立て、あめのみこ やねのみこと
がのりとを申し上げ、あめのうずめのみこと
おもしろおかしくおどると、神さま
たちはどつとお笑いになりました。

あまてらすおのみかみ おも
天照大御神がふしぎに思われ、岩
戸をすこしおあけになると、鏡の中
にご自分とそっくりの神さまのお姿
がお見えになりました。いよいよあや
しいと思われ、戸をあけ身をのりだ
されたとき、いわ
岩かげにかくれていた力
もちの天手力男命が、おのみかみ て
大御神の手を
とられて、お誘いだされました。

こうして、世の中はふたたび明るく
なり、平和がもどつてきました。